

(4) スパコン技術に関する人材育成

- 理化学研究所
 - 大規模プロジェクトマネジメント手法、大規模システム構築に関する知見、大規模システム性能チューニング手法、大規模システム運用技術などの技術蓄積と、関連する人材の育成が図られた。
- アプリケーション開発者
 - 講習会、定例ミーティング、実際のアプリケーションチューニング等を通して計算科学と計算機科学に習熟した多くの人材が育成された。
- メーカー
 - 設計・製造を担当した富士通だけでなく、富士通関連会社や部品製造会社等、多数の企業が開発に参加した。1,000名規模の人が設計・製造に参加
 - 富士通本体には、大規模システム構築技術、超高速CPU設計技術、大規模システムソフトウェア開発技術等、多くの技術が蓄積され、関連の技術者が育成された。
 - 富士通以外の参加企業にも、開発を通して、関連技術を有する人材育成が図られた。

(5)-1 利活用の運用サポート体制 ~1~ (「京」の共用の枠組み)

国(文部科学省):特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律に基づく
共用の促進に関する基本的な方針の策定

提言

実施計画の認可

実施計画・業務規程の認可

理化学研究所(設置者・実施主体)
[計算科学研究機構(神戸)]

(法定業務)

- 「京」の開発
- 施設の建設・維持管理
- 超高速電子計算機の供用

連携

「京」【共用施設】



登録施設利用促進機関(登録機関)
[高度情報科学技術研究機構]

(法定業務)

- 利用者選定業務
- 利用支援業務
(情報の提供、相談等の援助 等)

23年10月に選定
24年4月から業務開始

理研、登録機関、コンソーシアム
三位一体の連携により
広範な分野での活用を促進

HPCIコンソーシアム

計算資源提供機関やユーザーコミュニティ機関等

HPCIの整備・運用や、
計算科学技術振興に関わる意見を
幅広く集約し提言

提言

利用の
応募

(戦略機関について
は、優先的に利
用枠を確保)

公正な課題選
定、情報提
供、研究相
談、技術指導
等

利用者のニーズ

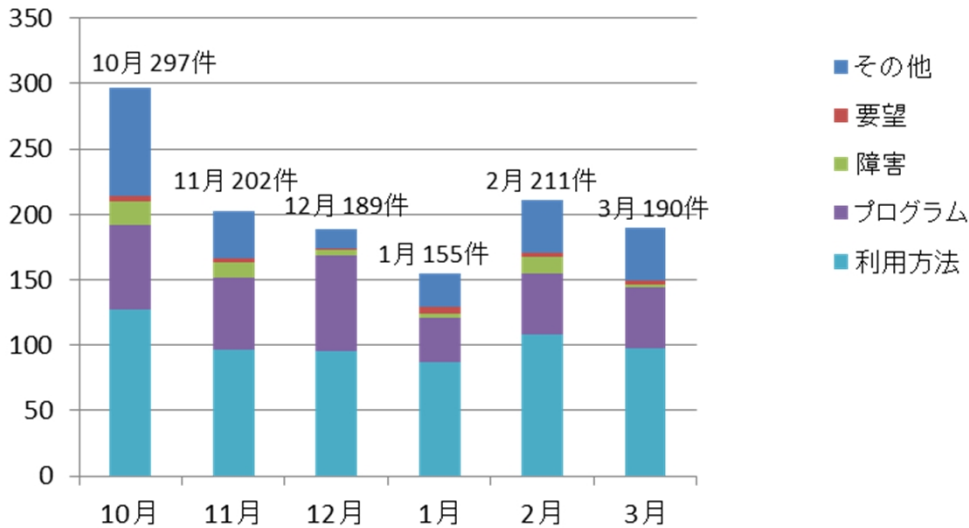
戦略機関(社会が期待する画期的な成果創出のため、「京」を中核とするHPCIの重点的・戦略的な利用)

利用者(大学、独立行政法人、産業界等、基礎研究から産業利用まで幅広い利用)

(5)-2 利活用の運用サポート体制 ～2～ (登録機関の取り組み)

- 利用支援のための一元的相談窓口(ヘルプデスク)を設け、利用者にワンストップ・サービスを提供する体制を整備し、利用者への情報提供、利用相談等を通して早期成果創出に貢献。
(ヘルプデスクの対応に対し、利用者からは的確、迅速、親切、満足等のコメントが多数寄せられ、初期の設置目的を達成)
- 技術支援にあたっては、共用法に定められた数以上の研究実施相談者等による充実した技術支援体制を整備し、利用者プログラムの高度化(高速化・効率化・大規模化)支援を実施。
- 戦略分野支援を中心とした要員のスキルアップを図るとともに、計算科学を支援する高いスキルを持った人材を養成。
- 産業分野支援のための産業利用推進室を設け、産業界の利用促進、利用実績向上に貢献。

① ヘルプデスクの相談件数(「京」関連)



② プログラムの高度化及び実行に関する支援の状況

支援課題数 56課題(うち、一般利用24, 産業利用10, 戦略22)

③ 人材養成

ースキルアップ研修

戦略分野と密着した高度化支援にて要員のスキルアップを実施
国際会議に若手人材を派遣し、計算科学に関する能力の向上を促進
ー研究実施相談研究員枠(2人)を設け、利用支援を行う高いスキル(可視化技術)を持った若手人材を養成。平成25年度1名募集中。

④ 組織図

